

南阿蘇村 復興むらづくりだより

～あれから6年
6集落のいまを刻む～



2016年の熊本地震から6年が経過しました。人々の生活は元に戻りつつありますが、現在でも特に地震被害の大きかった旧長陽地区の一部の地域では住民の皆さんが復興とさらに地域をより良くしていくための活動に奮闘されています。今月よりこの「南阿蘇村復興むらづくりだより」の中で6地区の「集落復興支援事業」の活動について紹介していきます。

■ 沢津野区のいま

主な地震被害…早角神社・集落内の道路・用水路など

集落住宅…地震前：42世帯→地震後：全半壊38世帯→現在：34世帯（令和4年3月現在）

沢津野地区は、農業や畜産が盛んでまた美術館やゴルフ場などもある集落です。

当地区は熊本地震により、住宅などが甚大な被害を受け、平成28年3月に完成した沢津野公民館においても、直後の熊本地震の影響により落成式を執りおこなえなかったことから約2年半後の平成30年10月に落成式を実施。令和2年3月の「早角神社復興」などとともに個人の自宅再建や集落の道路・用水路復旧が進み、今では落ち着きを取り戻しています。

また、集落再生・活性化の事業として令和元年に「あざみヶ池（溜池）を利活用した交流促進事業」（沢津野区公園管理組合主体）を開始し、溜池の周りを公園化。獣食害で花壇の成育がなかなか思うようにはいきませんでした。整備や植栽の成果で休憩や写真撮影のスポットになりつつあります。

その後、若い世代では「沢津野早角会」を立ち上げ、課題となる過疎や休耕作地の利活用・伝統行事の継承などについて、定期的に集会を開き、集落内の各家を「屋号」で呼び合っていた歴史なども研究。季節ごとの行事では、震災後地区を離れて暮らす人たちにも声掛けし、集落には賑やかな時間が増え、また田植えの再開でカエルの大合唱も戻ってきました。



①あざみヶ池公園の丘への階段
②あざみヶ池（ため池）の風景

お知らせ

「里山の小さな夏祭り」 開催有無などの情報は右のQRコードで確認

日時／7月31日（日）午後3時～8時30分 会場／沢津野公民館（河陽5720番地）
駐車場30台・雨天開催（ただし、雨天時は午後8時からの小さな花火大会は中止）



地域の藁を使った伝統継承のしめ縄作りと天満宮などへの奉納



令和4年夏祭りのチラシ

〈問い合わせ〉 政策企画課 集落支援員 北里 TEL0967 (67) 2230